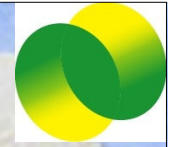


# 高大接続の課題

2008年1月12日

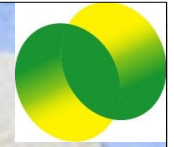
大学評価・学位授与機構

荻上 紘一



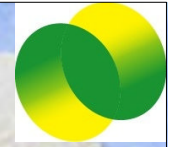
# 最近の中教審答申など

- 「我が国の高等教育の将来像」(2005年1月)
- 「新時代の大学院教育」(2005年9月)
- ➔大学院教育振興施策要綱
- 「学士課程教育の再構築に向けて」(2007年9月)



# 中教審大学分科会

- 制度・教育部会、大学院部会
- 学士課程教育の再構築
- 「全入時代」における高大接続の課題
- 大学院における修業年限の弾力化(2008年4月1日施行)
- 大学の入学時期の更なる弾力化(2008年4月1日施行)
- 履修証明制度(2007年12月26日施行)



# 高大接続

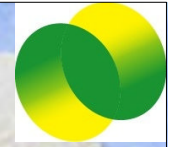
- 高校・大学の連続する教育の営み

- **高校**: 大学進学を希望する生徒を育てる

- ◆ 大学進学を希望する生徒の学習状況・成果を適切に把握し指導する
- ◆ 適切な大学選択の指導
- ◆ 生徒の学習状況・成果の情報を大学に提供する

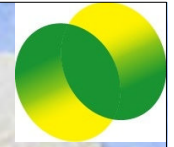
- **大学**: 入学した学生を育てる

- ◆ 求める学生像を明示
- ◆ 求める学生を選抜する
- ◆ 学生の入学時の情報を把握し、初年次教育に活かす



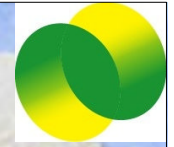
# これまでの大学入試

- 過度の受験競争に伴う様々な課題を抱えながらも、**大学の入口管理**（合格が学力の証明になる）や**高校教育の質保証**（大学合格を動機付けとした学習成果）に関して一定の効果があった。



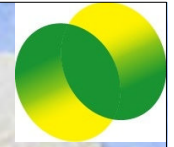
# 「大学全入」時代到来

- 過度の受験競争は緩和
- 選抜性の高い大学は少数、定員確保が困難な大学が増加
- 大学入試の選抜機能の低下
- → ・「高校教育の質保証」機能の低下
- ・「大学の入口管理」機能の低下



# 大学入試の改善

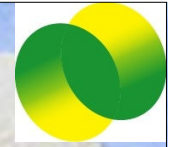
- 大学審議会答申「大学入試の改善について」(2000年)
  - 特色ある教育理念の確立
  - 入学者受け入れ方針の明確化
  - 評価尺度の多元化・選抜方法の多様化
  - 受験科目を少なく
  - →→ 入学後の教育に必要なものを課す



# 大学入学者選抜実施要項

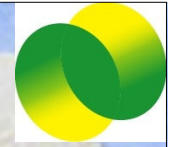
- 大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を 多面的に判定
- アドミッション・ポリシーの明確化
- 入学後の教育との関連を十分に踏まえる
- 選抜方法の多様化
- 評価尺度の多元化
- ...





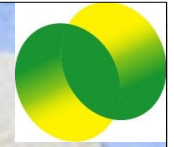
# アドミッション・ポリシーの明確化

- 最低限「何を学んできて欲しいか」をアドミッション・ポリシーに明記する。
  - 高校で履修すべき科目
  - 取得しておくことが望ましい資格
  - 検定試験の受験
  - ...



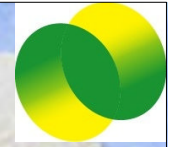
# 高校での履修状況

- 理学部に入学した学生のうち
  - 25.4%が高校で数Ⅲ・Cを履修していない
  - 28.2%が高校で物理を履修していない
- 医歯薬系学部に入学者のうち
  - 32.5%が高校で生物を履修していない



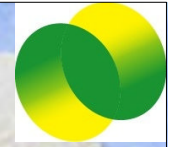
# 履修と修得

- 履修主義であり、修得主義ではない！
- 高校生の40%は学校外で全く勉強しない。
- 高校は、大学進学を希望する生徒の学習成果を客観的に把握し、大学に提供できているか？



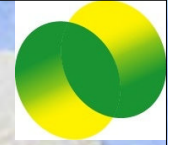
# 大学入学資格

- 大学入学資格(学校教育法90条):
  - 高校卒業・・・同等以上の**学力**があると認められた者
- 高校卒業認定は高校長が行う。
- 高校における学習成果の検証は？



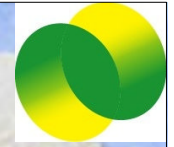
# 一般入試・AO入試・推薦入試

- **一般入試**: 調査書、学力検査、面接・小論文その他の資料により判定
- **AO入試**: 学力検査に偏ることなく、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせて、能力・適性・意欲・目的意識等を総合的に判定
- **推薦入試**: 出身高校長の推薦に基づき、原則として学力検査を免除し、調査書を主な資料として、面接・小論文等を利用して判定



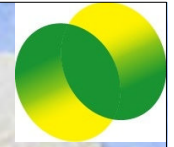
# AO入試・推薦入試

- 調査書の信頼性
- 小論文や面接で合否を判定
- →高校段階の学習成果や能力・適性を十分に把握出来ない
- →基礎学力の担保が出来ない



# 「学力不問」の大学入試

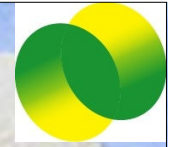
- AO入試・推薦入試の多くが「学力不問」
- 「一般入試」経由は入学者全体の約57%
- 大学生の約40%が「学力不問」で入学
- →基礎学力不足
- →約60%の大学で高校教育の補習授業を実施



# AO入試

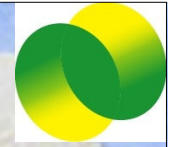
- Admission Office
- All OK
- 「青田買い」化も問題





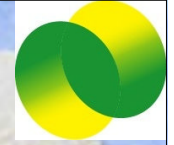
# 高校段階の学習成果の客観的把握

- 高校教育の改善につながる
- AO入試・推薦入試における「学力担保」に資する
- 大学の初年次教育に活用できる
- →→大学進学を希望する生徒を対象として、  
学習成果の客観的評価が不可欠



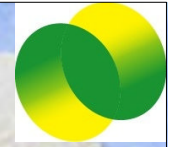
# 「学力担保」の義務づけ

- 「学力不問」の入試が円滑な高大接続の妨げになっている
- →AO入試・推薦入試における「学力担保」措置を講ずる
  - 学力試験を課す
  - センター試験を活用
  - 民間資格の取得、検定試験の成績を出願要件にする
  - 合格後にセンター試験の受験を義務づける
  - 「高大接続テスト」の実施！



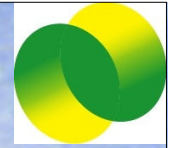
# 高大接続テスト

- 資格試験を課すことにより、高校生の勉学を促す
- センター試験は本来は資格試験的性格が強かったが、「全入時代」の資格試験としては難し過ぎる
- センター試験の時期がAO入試に使い難い
- センター試験を「難」「易」2本立てにするか
- 新しい資格試験を導入するか



# 参考資料

- 「大学入試の改善について」  
平成12年11月22日 大学審議会
- 「我が国の高等教育の将来像」  
平成17年1月28日 中央教育審議会
- 「新時代の大学院教育」  
平成17年9月5日 中央教育審議会
- 大学設置基準、大学院設置基準
- 大学院教育振興施策要綱
- 「学士課程教育の再構築に向けて」＜審議経過報告＞  
平成19年9月18日 中央教育審議会大学分科会



有り難うございました

m(\_ \_)m

